

# 土地利用の目標・基本方針

## 土地利用の目標

北広島市を構成する各地区が特徴的な個性をもちながらつながりを強め、住み良さが感じられ落ち着いて暮らせる住宅地、市民各層が便利に楽しめる商業地、産業活動を増進させ雇用の場を創出する工業・業務地、農業施策との連携のもとに保全を図る市街地周辺の農地など、ゆとりとうるおいのある緑豊かな環境と調和した土地利用を進めます。

## 土地利用の基本方針

### ○住宅地環境の保全・形成

計画的に開発整備が進められた多くの住宅地は、周辺にある身近な緑に囲まれる形で形成され、全体として住環境の良好な市街地が形成されています。今後も、住宅需要に対応するとともに、住み心地の良さを感じながら落ち着いて暮らせる環境の形成を図ります。

### ○商業・業務地環境の保全・形成

市民の利便性や快適性を享受できる都市づくりを進めるため、商業振興施策との連携のもとに、J R 駅周辺における商業・業務地や住宅地内の地域商業地、さらには幹線道路沿道における商業・業務地の計画的な配置を進めるとともに市内における多様な雇用機会の提供を図ります。

### ○工業地・主要幹線道路等の沿道環境の形成

本市は、東地域と西地域の2地域に工業団地を配置し、

多くの企業が立地、操業をしていますが、今後も活発な事業活動が展開されるよう、産業振興施策との連携のもと、工業地環境の保全と向上を図ります。また、産業・経済活動の一層の活発化と多様な雇用機会の提供を図るため、立地特性を活かし、新たな産業・業務系団地の開発計画の検討を進めます。

### ○森林地域環境の保全と活用

森林やまとまりのある樹林地については、守るべき緑地の指定などにより保全を図るとともに、開発行為等における無秩序な開発の防止に努めます。

また、人が自然とふれあい、交流ができる緑空間については、市民の散策や憩いの場、自然体験やボランティア活動の場などとして活用を図ります。

### ○農業地域環境の保全と活用

農業の振興により優良な農地の保全を図るとともに、市民が土にふれ、作物を収穫する市民農園や観光農園などの都市型農業の展開により、農業施策との連携のもとに都市と自然と農業が調和した農業環境の形成を図ります。

# 都市交通体系の目標・基本方針

## 都市交通体系の目標

鉄道駅・駅周辺の充実により交通結節点としての拠点性を高めるとともに、鉄道やバスの利便性向上や幹線道路の計画的な整備を総合的に行い、地区内、地区間、近隣市町間との交通を充実し、移動手段を選択できる都市交通の実現を目指します。また、住宅地内の通過交通の抑制や広くて段差のない歩道、市内・市外を結ぶ歩行者・自転車道路を整備し、安全で楽しい歩行者自転車空間の創出を図ります。

## 都市交通体系の基本方針

### ○都市間を結ぶ広域的な道路（広域幹線道路）の整備

道央都市圏における広域的な人や物の移動を円滑にするとともに、本市における骨格的な道路網を形成するため、高速自動車道、国道、道道による広域幹線道路網の整備や適正な維持を促進します。

### ○都市内の道路（幹線・補助幹線道路、区画道路）の整備

主要幹線道路を補完し市内の各地区間を連携する幹線道路、また、幹線道路を補完し地区内を連絡する補助幹線道路、さらに住宅地内の区画道路により安全性、利便性の高い道路ネットワークの形成を図ります。

### ○歩行者・自転車道路の整備

子どもから高齢者、障がい者などだれもが安全、快適に移動し、自動車に頼らない生活ができる市街地づくりを進めるため、歩行者空間や自転車道路を確保し、日常生活やレクリエーションを楽しくする歩行者・自転車道路のネットワークを形成します。

### ○公共交通の充実

高齢社会に対応したまちづくり、また、自動車に頼らない環境にやさしいまちづくりを進めるため、駅周辺の充実により鉄道駅の交通結節機能を強化するとともに、鉄道やバスによる利便性の高い公共交通網の形成を図ります。

### ○道路空間の環境整備

通学路や病院、商業施設の周辺など歩行者の多い道路、また、自動車の交通量の多い道路については、優先的な除排雪や融雪の強化、信号機や標識の設置、街路樹のポリウムアップと適正な管理などを行い、道路の安全性や快適性、道路空間の憩いとやすらぎを高めます。また、市民・事業者・行政が協力しながら木や花による緑化を進め、うるおいのある道路空間の創出を図ります。